

「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」に対する  
意見募集の実施結果について

平成 27 年 12 月 25 日  
長和町企画財政課

1. 募集案件
  - ・ 長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）
  
2. 意見募集期間
  - ・ 平成 27 年 12 月 1 日（火）から 15 日（火）までの 15 日間
  
3. 案の公表方法・閲覧場所
  - ・ 長和町ホームページへの掲載
  - ・ 長和町役場企画財政課、和田庁舎窓口に閲覧用資料を備え付け
  - ・ 各区への文書回覧
  
4. 意見提出方法
  - ・ 直接持参
  - ・ 電子メール
  - ・ 郵送
  - ・ ファクシミリ
  
5. 提出された意見の件数
  - ・ 9 名 38 件
  
6. 提出された意見の概要とそれに対する長和町の考え方
  - ・ 下記及び別紙のとおり

長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」に関するご意見及び長和町の考え方

基本目標 1 （地域資源を活かした地域産業の振興で働いてみたいとなる長和町をつくる） 関連

項目ごとの提出された意見の要旨	長和町の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野沢菜漬等の市場開発とブランド化推進による雇用づくりを提案する。信州野沢菜の認知は県内外で高く、町には野沢菜漬のパイオニア企業が健在する。近年、漬物市場は消極化や多様化で難しい面もあるが、長和町らしい商品開発に挑む。町認定商品（野沢菜漬等）企業等の技術・ノウハウを基として、産官連携等の体制等を組み、更なる商品・市場開発（生産拡大）を図ると共に、ブランド化（付加価値化）を通じて町の雇用の促進を図る。</li> <li>・ カラマツ集成材のブランド化推進による雇用づくりを提案する。県産カラマツ材の優良性の認知は建築業界等ではあるが、一般においては未だ低く認知度アップが求められる。町の企業が持つカラマツ集成材に関する高い技術力を基盤とする産官連携等の体制を組み、更なる商品・市場開発（生産拡大）に挑むと共にブランド化推進（付加価値化）を通じて町の雇用の促進を図る。</li> <li>・ ICT の活用について、「新しい SNS、スマホの新しいツール開発」など具体的にどのようなソフト開発を町として手がけるのかを「長和町らしさ」として明記した方が良い。更に、新事業企画室を役場内に設置することを示すなど、ICT 化に向けて役場職員が中心的な役割を担うことを我が町として明言すべき。</li> <li>・ 自然エネルギー活用施設の雇用について、期待をこめて 1 人ではなく 10 人程度にしたほうが良い。</li> <li>・ 雇用創出に関する企業への支援について、①に加え、例えば「②地元産業支援振興のために、長和銀行（役所内銀行＝株主：長和町民ほか）を創設し、各種企業体の誘致はもとより、地元企業の活性化策としても積極的な融</li> </ul>	<p>ご意見の趣旨から考えられる素案として計画すべき方向性は、素案中の下記項目の内容に概ね取り込まれていると考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（ア）特産品開発等による雇用の創出</li> <li>（イ）雇用創出のための企業誘致等</li> <li>（ウ）雇用創出に関する企業への支援</li> <li>（エ）観光資源の活用による雇用の創出</li> <li>（オ）農林漁業に関する雇用の創出</li> <li>（ケ）起業支援体制の充実・事業者の育成</li> </ul> <p>なお、頂いたご意見を参考とし、次の部分で素案の修正を行います。（詳細は別紙のとおり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（ア）②</li> <li>・（ア）③</li> <li>・（イ）②</li> <li>・（イ）③</li> <li>・（ケ）②</li> </ul> <p>またそのほか、各項目に対し、具体的な事業の進め方やアイデアについてのご意見を頂きましたので、今後、各施策を進めていく中で参考にさせていただきます。</p> <p>なお、目標値についてのご意見も頂きましたが、施策の実施により目標が達成できるよう努力し、あわせて、PDCA サイクルの中で、内容や数値については見直してまいります。</p>

資を行う」、「③老人介護施設を長和町に誘致し、顧客入所 200 人、職員 100 人（地元採用 50 人）の移住を図り、職員の家族を含めて計 500 人の人口増を達成する」、「④長和町の農業とリンクさせた食品製造分野の企業を誘致し、100 人規模での雇用を創出。家族を含めて 300 人の人口増加を実現する」などの具体的な目標数値を書き込む。

- ・ 長和町振興公社によるスキー場経営はエコーバレースキー場のように民間企業に移行すべき。
- ・ シーズンオフのスキー場の活用を検討すべき。
- ・ 長和町振興公社の安定した経営体制構築について、今後、公社の経営環境・状況が好転しないなら第 3 セクターから民間企業への移管、譲渡も視野に入れるべき。
- ・ 農林漁業に関する雇用の創出について、「農林水産業」は「農林業」とした方が、長和町としては適切なのではないか。（長和町には海、大きな湖などが無いため）
- ・ 起業支援体制充実における地域おこし協力隊制度の活用について、協力隊の組織化、専門分野への特化人財確保、任期終了後までに NPO 法人もしくは株式会社を町との全面的な提携で設立し、当該事業会社の目的に合わせた雇用の創出をする。各創出分野における次世代の担い手も併せて地域おこし協力隊として確保し、長和町の無形伝統文化や芸術面における後継者並びにコーディネーターの育成をする。以上の内容としてほしい。
- ・ 政策的な林業とエネルギー産業の育成をすべき。

基本目標 2 (地域資源を活かした観光・交流文化の構築でひとの流れを呼び込む長和町をつくる) 関連

項目ごとの提出された意見の要旨	長和町の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域資源を活かした観光振興による交流人口の増大に関し、キャラバン隊の組織化と共に「地域おこし協力隊募集に関わるミス・ながわまち（仮称）の公募企画を盛り込んだ組織の設立による販売手法のPR強化等をする。インターネットサイト「まるごと長和町」は民間設立会社へ外部委託し、商用企画の強化を行い、長和町関連サイトの情報統合をする。農業体験や遊休耕作地の活用や新規特産品開発、既存特産品・奨励品の恒久的な商業活動を担う企業を創出し、流動性・商業意欲の増進強化を図る。以上の内容としてほしい。</li> <li>・ 観光に関し、観光客が利用できるトイレが少ないので、トイレもしくはトイレを併設した小規模な施設を建設する。(有料トイレの設置、集会所や空き家の接待所としての活用、小規模な喫茶店) また、リピーターを生む企画が少ないので、町民生活にも役立ち、かつ、一緒に楽しめるような企画を立てる。(町全体が観光地という姿勢でのイベント開催、野外活動オリエンテーリング)</li> <li>・ 地域資源を活かした観光振興による交流人口の増大に関し、観光の新しい創造的手法としての提案。たとえば、『ムーミン』『星の王子さま』はじめ童話村の創設を行い、イメージキャラクター等を観光開発の新商品としてクリエイトする。その観点からまちおこしを企画推進する。</li> <li>・ 空き家の活用による交流人口の増大に関し、「お試し移住」について、町として可能な限りの空き家を借り上げ、水道・ガス・電気・ネット回線・空調・建付・防火防災の7項目を修繕し、移住者用町営住宅として運営。また、地域おこし協力隊の公募において、具体的に空き家を管理運営する「特定空き家運用管理人」を募集し、改修後の空き家の建物管理業務・賃借希望者の物件案内・長久保宿・和田宿の街道沿い物件でのイベントの開催等を行い活性化を図る。以上の内容としてほしい。</li> </ul>	<p>ご意見の趣旨から考えられる素案として計画すべき方向性は、素案中の下記項目の内容に概ね取り込まれていると考えられます。</p> <p>(ア) 地域資源を活かした観光振興による交流人口の増大  (イ) 空き家の活用による交流人口の増大  (ウ) 若い世代の定住人口増大のための住宅支援  (カ) 国際交流の基盤整備  (ク) 銀座 NAGANO の活用</p> <p>なお、頂いたご意見を参考とし、次の部分で素案の修正を行います。(詳細は別紙のとおり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (ア) ⑨</li> <li>・ (イ) ②</li> <li>・ (カ) ②</li> <li>・ (ク) ①</li> </ul> <p>またそのほか、各項目に対し、具体的な事業の進め方についてのご意見を頂きましたので、今後、各施策を進めていく中で参考にさせていただきます。</p> <p>なお、目標値についてのご意見も頂きましたが、各施策の実施により目標が達成できるよう努力し、あわせて、PDCA サイクルの中で、内容や数値については見直してまいります。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住者戦略について。年間人口の1%以上を目標に直接的、間接的に何をすべきかを検討していくべきである。</li> <li>・ 若い世代の定住人口増大のための住宅支援に関し、宅地の造成について、「都会移住者向け宅地造成区域」を設け、家庭菜園付き宅地を町営住宅として賃貸して、農業指導を展開し、農業の基礎を学んだ上で町内に転居し、同区内の遊休荒廃地を農地として開拓・運用する流れを構築。以上の内容としてほしい。</li> <li>・ 若者向け住宅を確保しても就労場所がないので転出してしまう。戸建て住宅用地を50坪以下で造成し安価で販売することで定住につながる。</li> <li>・ 国際交流の基盤整備について、大学と連携し、世界でも問題となっている山間部の遊休荒廃地活用事例の取り組みを共同で模索・提案し、日本独特の生活習慣や文化交流を交えながらプログラム化及びカリキュラム化する。以上の内容としてほしい。</li> <li>・ 銀座 NAGANO の活用について、施設内への特産品及び奨励品の常設ブースの設置、移住希望者への情報発信ブース、婚活事業のイベント場所としての活用。以上の内容としてほしい。</li> <li>・ 銀座 NAGANO は一つの拠点。展示ツールなどについて、もう少し具体的に、イメージできるように書いた方が良い。</li> </ul>	
--	--

基本目標3 (地域資源を活かし、結婚・妊娠・出産・育児・子育てを切れ目なく支援する環境を整え、子育てしたくなる長和町をつくる) 関連

項目ごとの提出された意見の要旨	長和町の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て環境の充実について、英語を中心とした外国語コミュニティスクールを開設(町内の英語堪能者等の人材を活用、外国人講師による外国語教室)する内容としてほしい。</li> </ul>	<p>ご意見の趣旨から考えられる素案として計画すべき方向性は、素案中の下記項目の内容に概ね取り込まれていると考えられます。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援は、わがまちでも最も重要。それにしても抽象的すぎて、若い世代に遡及しない文言になっている。 「出産祝い 1人目 20万円、2人目 30万円、3人目 40万円」、「中学までの給食費、医療費は無料」、「中学までの育児、学齢支援金などとして月額2万円支給」、「家賃補助：月額1万円」など明記すべき。これがないと、ほとんどの子育て世代の人は、1ターンでこの町に移住してまで子育てする気が起きない。</li> </ul>	<p>(イ) 子育て環境の充実</p> <p>このため、素案の修正は致しませんが、各項目に対し、具体的な事業の進め方についてのご意見を頂きましたので、今後、各施策を進めていく中で参考にさせていただきます。</p>
---	--

基本目標4 (地域資源を活かした安全・安心な環境の確保で、暮らし続けたい長和町をつくる) 関連

項目ごとの提出された意見の要旨	長和町の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>「小さな拠点」の数値目標について、「目標値 1か所」これを、「複数の自治会ごとに1か所」のようにすべき。</li> <li>基本的方向のうち、「事故や犯罪の少ない」のところは、目指すのだから「事故や犯罪のない」と言い切るべき。</li> <li>依田窪病院について、現場は鋭意努力しているのだろうが、現実、連年多額の赤字を累増させている。しかも、総務省令による繰出しを受けての結果で、危機的な状況であり民間であれば倒産していると思う。人事体制や病床数まで含め抜本的な見直し、改善策の断行が必要だと思ふ。</li> <li>医師等不足解消のための修学資金制度について、制約等があり地元での就労は難しいのではないか。</li> <li>空き家を活用した認知症対応型サービスの展開について、地域おこし協力隊「特定空き家運用管理人」による見回りや火の元確認・話し相手といった事故防止策を伴う運用の拡大。以上の内容としてほしい。</li> <li>病院、温泉、ペンションと連携し、福祉介護の充実、増</li> </ul>	<p>ご意見の趣旨から考えられる素案として計画すべき方向性は、素案中の下記項目の内容に概ね取り込まれていると考えられます。</p> <p>(カ) 医療・介護体制の充実 (キ) 安心な暮らしを守るための空き家の有効活用策の検討 (ク) 道の駅の整備 (シ) ふるさと納税制度の活用</p> <p>なお、頂いたご意見を参考とし、次の部分で素案の修正を行います。(詳細は別紙のとおり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的方向</li> <li>・(キ) ①</li> <li>・(ク) ①</li> <li>・(シ) ①</li> </ul> <p>またそのほか、各項目に対し、具体的な事業の進め方についてのご意見を頂きましたので、今後、各施策を進めていく中で</p>

<p>設をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅の整備について、道の駅に存在する町管理施設を改装し、まるごと長和町事業の拠点进行、通信販売管理施設並びに取り扱い商材の陳列・販売・紹介拠点とする。同時に観光協会と商工会も参画し、まるごと長和町事業によるWEB内の情報管轄部門を統括する。以上の内容としてほしい。</li> <li>道の駅の整備について、現在までの道の駅の状況によると、どうしても営業者内の課題と認識され、協働の方向性を取り入れにくく、他者を避けたりしてしまうように思う。理念・目標として、広く町民の参加を促すような表現にしてもらいたい。たとえば、新庁舎、活性化施設「蔵」から道の駅を含む温泉、公園施設の一体的拠点整備。和田を視野にすると和田宿本陣周辺、和田旧庁舎から和田宿ステーションを含む温泉、公園施設の一体的拠点整備。</li> <li>ふるさと納税制度の活用について、「まるごと長和町」と連携した展開、「農村体験短期移住」セットや、高単価特産品の開発を常時行なう体制による新規返礼品の増加を行う。以上の内容としてほしい。</li> </ul>	<p>参考にさせていただきます。</p> <p>なお、目標値についてのご意見も頂きましたが、施策の実施により目標が達成できるよう努力し、あわせて、PDCA サイクルの中で、内容や数値については見直してまいります。</p>
---	--

総合戦略全般に関して

提出された意見の要旨	長和町の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略は、「どうすればふるさとに住み続けられるか」の視点で総合計画らしく理想形でまとめられているが、個々の基本的方向があまりに多く、それに対して主な施策が貧弱な気がした。また、財源や人的なことを思うとわずか5年間で達成できるのか疑問に思った。取捨選択しながら主要事業を絞り込むべきだと思う。</li> <li>素案は、あまりにも総花的で、全てを網羅し、どこの自治体とも同じような内容で、特長がなく、予算が充分とれるのか、疑問に思う。今や地方自治体は、民間企業と</li> </ul>	<p>「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（素案）については、国において策定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に定められた「まち・ひと・しごと創生」分野における町の取り組みを人口減少に対応した特に必要な施策として明らかにしたものであり、今後の指針を示す「基本的な計画」であると考えており、具体的な事業は、各年度の計画において定めていきます。</p>

同じで、サバイバルゲームに突入、もっと重点的、個性的、戦略的でインパクトがあり、可能性のある事業展開が必要ではないか。又、計画は、5か年を目途となっているが少なくとも10年を見据えた展開が必要で、雇用創出が5年で18人とはあまりにも寂しい限りである。

- ・ 企業誘致の具体的な企業はあるのか。素案に記されている内容はすべて目標で、目標達成のための具体策が記されていない。Pが曖昧ではその後のDCAにつながらないのではないか。これからつくるのか。
- ・ これまでの行政計画は、策定後きちんと進行管理されていないように思う。例えば、以前策定した集中改革プランがいい例。そういう意味でPDCAサイクルの導入は良いことだと思うので、きちんと実践してほしいし、責任体制も明確にしてほしい。
- ・ 町が行っている活動内容を一覧で提示した方が良い。また、町外からボランティアで協力してくれる個人・団体・学校などもあると思う。団体・学校については記載されているが、ボランティアについても記載した方が良い。
- ・ 行政改革を並行して進めるべきだと思う。長和町は、正規職員100名余に対し臨時職員が80名程いると聞いた。近傍類似町村に比して相当多いのではないか。安易な雇用で地方公務員法第22条の趣旨を損ねるべきではないと思う。そのためには、アウトソーシングへの移行（小さな役場）を促進すべき。各業務を洗い直し関連法規を損ねない範囲で指定管理や業務委託、場合によっては振興公社部門の譲渡（または譲与）。契約の書きぶり（要件）で町内の雇用創出は十分可能だと思う。

なお、総合戦略の策定にあたっては、行政内部だけでなく、関係各方面からの意見を結集し、それらを網羅する形でまとめてあります。

実際に事業を実施する段階では、寄せられた具体的なアイデア（意見募集の結果も含む）や優先順位を考慮し、本総合戦略に盛り込んだそれぞれの分野において計画を策定し、事業を実施する中で、PDCA（計画・実施・評価・改善）サイクルによる検証をしていきます。

なお、頂いたご意見を参考とし、次の部分で素案の修正を行います。（詳細は別紙のとおり）

#### ・ 第4章 3

そのほか、頂いたご意見は今後の施策展開の参考にさせていただきます。